

平和憲法を守って 福祉・くらし優先の市政に

日本共産党
あきば 繁の
市議会報告



みなさんとご一緒に
今年もがんばります

2013年1月
N.O. 7
発行者
古河市議会議員
あきば 繁
茶屋新田71-4
☎ 48-2139

古河総合公園

2013年も”都議会議員選挙、参院選挙(7月)、
県知事選挙(9月)”があります。
知恵と力を持ち寄って……

2013

政治の春を呼ぶつどい に集まりましょう!!

小林恭子さんが、
お話しします



プロフィール 1950年鹿
児島県霧島市生まれ。鹿児島女
子短期大学児童教育課卒。東京
マックスファクター(株)。農民連
全国常任委員、同女性部副会長。

とき/2月10日(日)

午後1:30

ところ/平成館 ネーブル
パーク

(講義室)

新市長の下での秋庭繁市議の
議会活動を報告します。みなさん
のご意見をお寄せください。
さそい合って、お出かけください。



(茶菓代500円)

「古河駅東部土地区画
整理事業」地内の

計画は、『白紙撤回』 『任期中の4年間は、 一切建設せず』

「菅谷新市長が明言」

昨年、12月16日の総選挙と
同時に行われた市長選挙で、
1万3千票の大差で当選した
菅谷憲一郎氏は、19日初登庁
し、職員と顔合わせのあと、
20日から始まった古河市議会
第4回定例会に臨みました。
菅谷新市長は、20日の所信
表明演説と、25日行われた秋
庭繁市議の一般質問に対する
答弁で、「総合的文化施設計

総合的文化施設建設計画

画」は、「白紙撤回」し、
自分自身の任期中となる4
年間は、「文化センターを
建設しない」と明言しまし
た。
**古河駅東部土地
区画整理事業は継続し、
利用方法は検討**
また、古河駅東部土地
画整理事業については、
「保留地処分」が残るので、
事業そのものは継続し、
「保留地の利用方法を職員
等と検討したい」と答弁し
ました。

ベストでない、ベターを忘れず 市民と共に歩む、まちづくりを!



第4回古河市議会定例会

教育、福祉、環境を最重要施策として —— 菅谷新市長の所信表明 ——

古河市議会 第4回定例会は、昨年12月16日の市長選挙後、20日から27日までの8日間で行われました。

菅谷新市長は、20日、議会に先立ち発言を求め「市民のため、まちづくりに邁進したい」の意向を述べるとともに、12月19日付で平沢副市長と遠藤教育長から、辞表が出され受理したと報告しました。また、今議会には、認定1件、報告3件、議案13件の合計17件の審議を託しました。

新市長の所信表明演説では、少子高齢化が進む中で、子育て支援とお年寄り対策に軸足を置いたまちづくりをしなければならぬとし、「教育」「福祉」「環境」の施策を3本柱として、重点的に取り組んでいくことを明らかにしました。

子育て支援、 お年寄り対策 日本一を目指すのか

問 市長選挙の公約に、「子育て支援、お年寄り対策をどこよりも充実」とあるが、スローガンだけか。どこよりもというよりは、高校生までと75歳以上の医療費無料化で日本一を目指すのか。

答弁 市長 全国の先進自治体と競争

する姿勢を持つて、子育て支援、お年寄り対策に取り組んでいき

問 新しいまちづくり、いま先にやるのが、沢山あるとは何か

たい。若い人に魅力あるまち、ひいてはお年寄りにやさしいまちにつながる。75才以上の医療費の無料化は難しいと思うが、どこまで出来るか相談をしたい。

答弁 市長 大型開発は進んだが、福祉が大きく後退しているが見つめ直すとき。古河市にあるものを活かすべき。高速道路のトンネル事故を期に、老朽施設の点検・修理が必要になっている。

古河市の施設も同じ、漏りする旧古河市の体育館、液状化で大変だった第7小学校の移転、立て替えの要望もある。

問 新しい施設と古い施設の差がありすぎる、特にトイレ、中田公民館、本庁舎など。第7小学校のトイレは一度見てきて欲しい。学校や本庁舎の耐震化も急ぐべきではないか。

答弁 市長 これからは、大型施設より身近なものに軸足を置きたい。予防、保全に加え施設の減量と新設の借金返済しながら維持管理費も必要。第7小学校のトイレは現地確認します。同7小の液状化は、つぶさに見てきました。

4万3千票の支持票 市民の期待を忘れず 市民と共に歩む市政を

問 選挙で示された貴重な支持票、ベストでないがベターで選んだ人もいるかもしれない。

答弁 市長 ベストではありません。ベターだと思えます。いわゆる消去法のもとに私が当選したと思っています。いまの気持ちを忘れずにやってみます。

農業委員会レポート

「永年勤続表彰」 前会長 野澤彰夫氏 前委員 上野澄夫氏

昨年11月9日、第12回総会の前、野澤彰夫前会長と上野澄夫前委員に、全国農業会議と茨城県農業会議から

きたつもりです」と述べ「今回は、ほとんどが入れ替わったが、ある程度の残留者が必要で継続してやって頂きたい」と、思いを述べられました。農業を続けながらの会長職：本当にご苦労様でした。

古河市農業委員会の中田義一現会長が代読しました。〈野澤彰夫氏〉は、「4期12年間1度も欠席せず、地域の代表としての自覚を持って責任を果たして



日本共産党演説会 午後2時～ 2月17日(日) 駿優教育会館(水戸)



参議院議員 紙智子

プロフィール 1955年札幌市生まれ。北海道女子短期大学工芸美術科卒。現在2期目。参院農林水産委員会。日本共産党農林・漁民局長。趣味はスキー、山歩き、絵画。

「放射能の危険から子どもたちを守りたい」「人間らしく働ける雇用と社会保障」「農業と食の安全を守りたい」。国民の声で動く政治に切り替え、希望がもてる日本を一緒に作りましょう。

昨年の総選挙で日本共産党は、議席を1つ減らしてしまいましたが、国民の立場を貫き、くらしと憲法をまもるため草の根で一層がんばります。ぜひ、一度日本共産党の話をお聞きください。